

高校生によるポスターセッション

9/28日 13:00~15:00 / 2F ライブラリー

【表彰】 16:00~16:30 / 3F 研修室

ひょうご
里山・里海
国際フォーラム
HYOGO SATOYAMA SATOUMI
INTERNATIONAL FORUM 2025

兵庫県内の高校生が里山・里海に関する研究成果を発表します！

【参加校】

兵庫県立尼崎小田高等学校

- 【水質調査班】
尼崎市におけるCODでの水質調査
- 【マイクロプラスチック班】
大阪湾、武庫川河口付近の魚に含まれるマイクロプラスチック
- 【生物班】
近畿産チチブ類の遺伝的集団構造

兵庫県立尼崎西高等学校

- 【ボランティア部 雑草駆除隊】
市街地における侵略的外来植物の雑草化に関する研究

兵庫県立有馬高等学校

- 【人と自然科】
有馬富士公園で若い世代に自然の魅力を伝える

兵庫県立小野高等学校

- 【4代目かおり班】
里山に見られるクロモジ5種の香り成分と遺伝子解析による研究
- 【ヒメタイコウチ班】
里山やその山麓の低湿地に生息する希少種ヒメタイコウチの保護に関する研究

兵庫県立加古川東高等学校

- 【プランクトン班】
淡水生シアノバクテリアによる海への鉄イオン供給

兵庫県立香住高等学校

- 【海洋科学科アクアコース】
ラムサール湿地調査

兵庫県立上郡高等学校

- 【地域環境科】
安室川の小さな自然再生プロジェクト

兵庫県立篠山東雲高等学校

- 【自然科学部】
ささやまの森公園の生物調査

兵庫県立洲本高等学校

- 【自然科学部】
田んぼの豊かさを支えるカブトエビの種多様性
- 【SOMAのかりんとう】
放置竹林×ため池水質浄化
一竹炭による地域資源の循環活用ー

兵庫県立大学附属高等学校

- 【Rable(らぶる)】
リユース、リサイクル、
アップサイクルで、自然を守ろう!!

兵庫県立龍野高等学校

- 【生物多様性保全チーム】
生物多様性龍高プラン
- 【簡易防獣柵開発チーム】
簡易防獣柵の効果の検証
- 【無菌培養技術開発チーム】
高価な設備をつかわない無菌培養技術の開発
- 【ヌマエビ研究班】
ヌマエビの生態に関する研究

兵庫県立御影高等学校

- 【環境科学部】
六甲山と神戸の海のつながりを考える

【審査委員】 川井 浩史 神戸大学 特命教授 菅 範昭 公益財団法人 ひょうご環境創造協会 理事長
中井 徳太郎 日本製鉄株式会社 顧問、公益財団法人 三千年の未来会議 代表理事、元環境事務次官
服部 保 兵庫県立大学 名誉教授 上西 琴子 兵庫県 環境部次長

里海国際フォーラム

日英同時通訳

今後の里海づくりに向けてー兵庫からの発信

9/28日 14:30~16:00 / 3F 研修室

国内外で取り組まれている里海づくりの取組成果や課題等を共有し、「豊かで美しいひょうごの里海づくり」の実現に向けて、目指すべき理念や今後の里海づくりのあり方等について情報交換します。



コーディネーター 内山 雄介

神戸大学 大学院工学研究科 教授
1998年東京工業大学にて博士(工学)取得。
港湾空港技術研究所、カリフォルニア大ロサンゼルス校等を経て2011年より神戸大学准教授、2015年より現職。海洋物理学・海岸工学・計算流体力学を専門とし、様々な海域の海洋デジタルツインの開発を通じて、サンゴ・アマモ生態系ネットワーク等の海洋環境に関わる教育・研究に従事。



パネリスト 吉田 裕之

一般社団法人 須磨里海の会 代表理事
1960年代に「川ガキ」として育ち、鹿児島大学で海洋生物学を専攻。環境系コンサルタント会社を経て2010年から須磨海浜水族園勤務。2014年~2020年園長。水族館の開発運営を担う株式会社アクアメントを経て、現在に至る。潜水士歴48年、水産水域環境・建設環境等の技術士、岡山県出身。



パネリスト 石森 康一郎

Value Frontier 株式会社 代表取締役
一般財団法人 国際開発機構、独立行政法人国際協力銀行を経て、2006年Value Frontier株式会社を創業し、代表取締役就任。以来、サステナビリティに係る調査・事業を国内外で実施。立教大学卒業。米国デンバー大学大学院国際技術公共政策修士課程修了。



パネリスト 加藤 久美

和歌山大学 観光学部 教授
和歌山大学観光学部・武蔵野大学しあわせ研究所教授。ISARC50共同代表。PATA理事。持続可能な観光地域づくりを「地域ウェルビーング」の強化として推進、歩く旅なども取り入れた特徴ある人材育成(地域アカデミー)も各地で実践している。



ひょうご 里山・里海 国際フォーラム

HYOGO SATOYAMA SATOUMI
INTERNATIONAL FORUM 2025

9/27土

開場 10:00 / 展示 10:00~15:40
プログラム 10:30~15:40

9/28日

開場 10:00 / 展示 10:00~16:30
プログラム 10:30~16:30

	3F 研修室	1F ひょうご ダイナミックシアター	2F 展示スペース	1F 展示スペース	3F 研修室	2F ライブラリー	2F 展示スペース	1F 展示スペース
10:00								
10:30								
11:00								
11:30								
12:00								
12:30								
13:00								
13:30								
14:00								
14:30								
15:00								
15:30								
16:00								
16:30								
17:00								

【場所】



兵庫県立兵庫津ミュージアム
Hyogo prefectural Hyogo-no-tsu Museum
ひょうごはじまり館 神戸市兵庫区中之島2丁目2-1

【主催】

兵庫県、公益財団法人 ひょうご環境創造協会
公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)
アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)
公益財団法人 国際エメックスセンター
ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)、ひょうご環境保全連絡会

本日はご参加いただき
ありがとうございます。
フォーラム終了後、
右の二次元コードから
アンケートにご協力をお願いします。



【お問い合わせ】

兵庫県環境部 総務課 TEL.078-362-3272

ひょうごZ世代 里山・里海環境リーダーからの提言

未来を担うZ世代が考える、これからの里山・里海のあり方とは？

9/27[±] 10:30~12:00 / 1F ひょうごダイナミックシアター

兵庫県では、本年5月から、次世代を担うZ世代を中心とした環境リーダー育成事業を行い、ひょうごの里山・里海の持続可能な保全・創出、人間との共生のため、これまでにない新しい里山・里海のあり方を検討しました。その成果を「Z世代からの提言」として発表します。ご期待ください。



脱炭素×SDGs× 地域づくりシンポジウム

9/27[±] 14:40~15:40 / 3F 研修室

真に地域の持続可能性(Sustainability)を維持するためには、地域でリーダーを担う人材や地域や専門家をコーディネートする人材が欠かせません。兵庫県では、公益財団法人兵庫環境創造協会・ひょうご持続可能地域づくり機構と連携し、「脱炭素×SDGsオーガナイザー育成プログラム」により、サステナビリティ・オーガナイザー(持続可能地域士)の育成等を進めてきました。シンポジウムでは、これまでの県での人材育成施策等について振り返るとともに、将来に向けた施策について討論します。



コーディネーター **畑中 直樹**

ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO) 代表理事
一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所(Hsl) 代表理事
大阪大学大学院工学研究科 招聘教員(環境エネルギー工学専攻)博士(環境科学)。福岡出身、西宮在住。(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)関西研究センター元客員研究員、北はりま田園空間博物館、上山高原エコミュージアム、東条川疏水ネットワーク博物館等の設立に関わり現在もアドバイザー等としてサポート。行政の各種委員・講師等とともに、自然再生や森林・木材関係のNPO等の役員としても多数活動。一貫して地域の環境問題・持続可能な地域づくり及びその担い手の育成に取り組む。総務省地域力創造アドバイザー、一般財団法人地域総合整備財団(ふるさと財団)地域再生マネージャー、北海道松前町参与ほか。



このシンポジウムはISAP2025(持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム)との連携プログラムとして開催されます。

里山国際フォーラム **日英同時通訳**

9/28^日 10:30~12:00 / 3F 研修室

日本一の里山とも称される兵庫県川西市黒川地区で受け継がれてきた豊かな自然と文化、そしてそれを支える地域の取組を取り上げるとともに、南／東南アジアにおける「地域循環共生圏(R-CES)」の実践事例もあわせて紹介します。自然との共生のあり方や持続可能な社会づくりについて、一緒に考えてみませんか？

[講演]
茶道文化によって支えられている
兵庫県川西市黒川の里山林



服部 保

兵庫県立大学 名誉教授

神戸大学博士課程修了、兵庫県立大学教授を経て、現在北摂里山大学学長(主催:北摂里山博物館運営協議会、兵庫県阪神北県民局)。照葉樹林・里山林の保全に関する生態学的研究のほか、万葉集・播磨国風土記などに関する植生学的研究および、ちまき・かしわもちに関する民俗植生学的研究に従事。



このフォーラムはISAP2025(持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム)との連携プログラムとして開催されます。



パネリスト **中井 徳太郎**

日本製鉄株式会社 顧問、公益財団法人 三千年の未来会議 代表理事、元環境事務次官



パネリスト **今 温香**

公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)関西研究センター 所属
北海道稚内市出身。ロシアで北方少数民族・サハ文化や永久凍土を通じた北極圏の環境リスクを研究。2024年北方(北極)連邦大学院修士課程修了。

パネリスト **上西 琴子**

兵庫県 環境部次長



パネリスト **北村 小夜**

サステナビリティ・オーガナイザー(第6期生)、流通科学大学在籍、NPO法人夢の森伴走者CUE理事

コロナ禍で学校閉鎖中に父親と兵庫県各地を巡る。コスプレ活動開始、ネット配信開始、アイドル活動開始、高校生エンカル推進委員会参加。



パネリスト **今別府 香織**

サステナビリティ・オーガナイザー(第8期生)、team KAGUYA 所属

子ども食堂の運営や玄米自然食の料理教室、竹灯籠イベントなどを通じて、地域に根ざした食と自然のつながりを伝える活動を行っている。手を動かし、人が集うぬくもりある暮らしの再生を目指す。

本フォーラム全体を貫く理念として設定した
地域の資源を最大限に活用しながら
環境・経済・社会の同時解決を目指す考え方である
「地域循環共生圏」について講演いただきます。

9/27[±]
13:30~14:30 / 3F 研修室

[基調講演]

地域循環共生圏 トリプルサステナビリティが 切り拓く未来

中井 徳太郎

日本製鉄株式会社 顧問
公益財団法人 三千年の未来会議 代表理事
元環境事務次官

1962年生。1985年東大法学部卒業後、大蔵省入省。在英国日本大使館一等書記官、富山県生活環境部長、財務省広報室長、東京大学医科学研究所教授、理財局計画官、財務省主計官等を経て、東日本大震災後の2011年7月環境省に。会計課長、秘書課長、廃棄物・リサイクル対策部長、総合環境政策統括官等を経て、2020年7月環境事務次官。地域循環共生圏構想、2050年カーボンニュートラル目標、カーボンプライシングの推進に深くコミットしてきた。2022年7月退官後、日本製鉄顧問、公益財団法人三千年の未来会議 代表理事。



9/27[±]・28^日 展示イベント



10:00~/1F 展示スペース

海ごみ展 今、知っておきたい海のこと。
どこから来たの?どこへ行くの?

世界中で問題になっている「海のごみ」。北は日本海、南は瀬戸内海・太平洋に面した兵庫県にも多くの「ごみ」が漂着しています。ごみが生物に与える影響やマイクロプラスチックの問題などの現状をご覧ください。



生物多様性展

兵庫県の豊かな自然と野生動物の多様性を紹介し、野生鳥獣の保護管理及び外来生物への対策を学べる展示です。



10:00~/2F 展示スペース

神戸市里山・里海展

自然共生サイト、KOBELONG炭、森の未来都市神戸など里山に関する取り組みやブルーカーボンなど里海に関する取り組みを展示します。



**くらしをまもる
「災害に強い森づくり」展**

「県民緑税」を活用した「災害に強い森づくり」の取り組みについて展示します。